

かなえ

第 51 号(平成 28 年 7 月)

医療法人社団 鼎会 三和病院 ・ 八柱三和クリニック

千葉県松戸市日暮7-379 047-712-0202 松戸市日暮1-16-2 047-312-8830

<http://www.sanwa-hsp.or.jp> <http://www.y-sanwa-cl.com>



～前号の桜咲く春木川の続き～
春木川コンビニ前が大山橋である。
川沿いには家庭菜園が続く
橋のそばには手押しポンプやトイレがある。
昔はコンビニがなかったので菜園者が作ったものであろう。

対岸には千葉みなとのモノレールが一軸展示しており、
近くの小生徒が訪れたそうである。
桜満開の中を人と子犬がこの時を楽しむようにゆっくりと歩いていた。

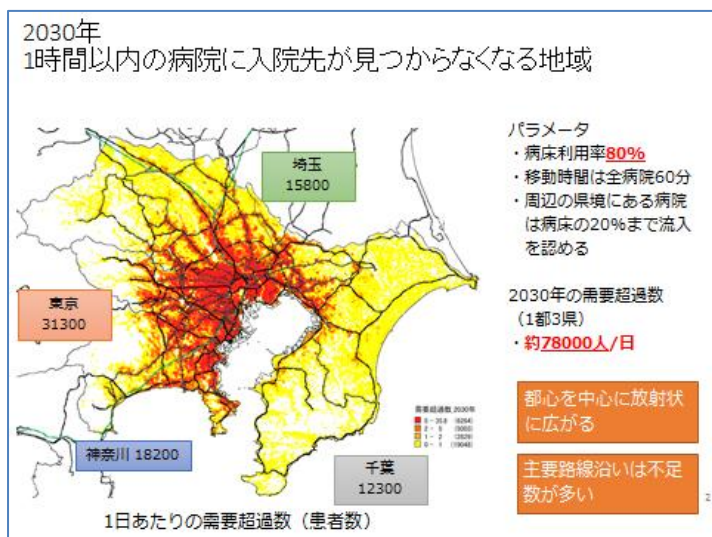
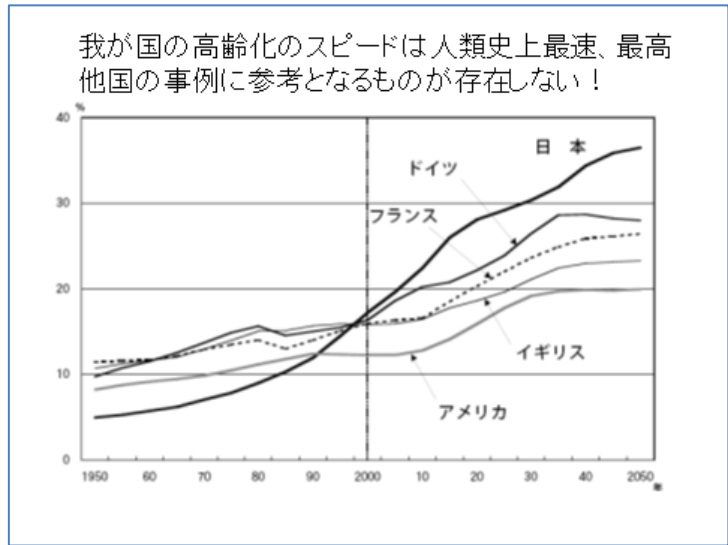
2016年 5月14日

絵と文 : 松戸市在住 水彩画家 菅谷功 氏

超高齢社会時代の医療について (1)

少子高齢化社会、超高齢社会が進行する中で、その本質がわかっている人はどれくらいいるでしょうか？つい先日も千葉大学医学部の4年生に講義をしましたが、この社会がピークとなる2030-40年頃に医療の中心を担うほとんどの医学生がこのことを理解できていませんでした。後期高齢者にかかる医療費は若年成人の8倍、入院日数も数倍多いことと、これから増える高齢者の数から考えると、ただ医師や看護師を増員し、救急車や病院を増やすことでいままでの医療を続けていくことは、どうみても10年以内に不可能になるでしょう。そしてそれは地方ではなく、まさに東京や千葉の都市部で起こってくることなのです。いまやこの国には医療においても右肩上がりの成長時代の戦略ではなく、どうやって医療需要を最小限に抑えこむかという戦略、あるいは医療に対する発想の転換こそが必要なのだと思います。

誰でも最良の医療を受ける権利があり、そのためにはあらゆる最新機器が備わっている大病院にかかることが最善だと考えるのは自然なことです。しかし高齢で認知症があり誤嚥性肺炎を繰り返し起こす患者さんが毎回大病院にかかることが本当に求められることなのでしょうか？その人にとって最善でもこれを続ければそのうち700万人になろうという認知症患者のこのような治療だけでも医療資源は枯渇してしまいます。かつそれが果たして本当にその人にとって最善の医療であるかという問題があります。人は皆いつか死ぬものであるという前提を誰も語ろうとしないで医療制度を作るとそうなってしまいます。



日本人の寿命はどんどん長くなり、いまや男女とも80歳を超え、さらに伸びつつあります。今後の一つの目標はこれを90、100と伸ばしていくことでしょう。しかし長寿は幸せなことですが、長寿ならば幸せな最期を迎えるわけではないのです。いままで長寿を目標にしてきたときにはあまり考えていなかった高齢者の晩年の医療というものを考えなければ、最後に不幸がくることになりかねません。健康寿命の裏返し、健康ではない介護が必要な期間は男女とも平均10年余りあります。しかしこの国ではいまだに尊厳死さえ法的に認められているわけではないのです。

このような時代に事前指示書、在宅医療、かかりつけ医制度を普及することで、高齢者の尊厳ある医療を実現すべく、三和病院スタッフは頑張っております。これらについては次回以降でお話したいと思います。

院内紹介 ～リハビリテーション課～

リハビリテーション室は三和病院でも一番見晴らしのよい4階にありガラス張りのため、眺望が良く、晴れた日には富士山やスカイツリーが望め、また夕日がきれいです。



【リハビリテーション室】

リハビリテーション課のスタッフはこの4月に新しく2名増え、理学療法士4名、作業療法士2名の合計6名にて、患者様を笑顔にできるように心がけています。



【リハビリテーション課スタッフ】

急性期病院である当院のリハビリへ来られる患者さんの多くは、整形外科疾患の各種骨折疾患

患の方や五十肩・腰痛・膝痛等の改善に向けての運動療法、乳腺術後の肩関節可動域の改善、消化器術後やがん治療後の体力の回復、肺炎や呼吸器疾患の呼吸状態の改善等を行っています。

この6月からは通所リハビリテーションも時短型(1-2時間)が開始となりました。専門スタッフによる運動指導や手作業指導を行っています。体力・運動機能の向上をしたい方や身の回りのことが自分でできるようになりたい方・退院した



【リハビリテーション室からの夕日】

ばかりで不安な方などに最適です。要介護認定を受けられた方で通所リハビリテーションをご希望の方は、リハビリテーション課までご連絡ください。

～ おしらせ ～

ご要望をいただいておりますシャトルバスの運行時間が 8月1日より 変わります。

・朝の診療開始前、夕方の診察終了後
午後の運行本数が増えました。

どうぞご利用ください。

詳しくは別添の運行表をご覧ください。

休診のおしらせ 三和病院

7月20日(水)	[整形外科]	櫻井 晃	医師	休診
7月22日(金)	[皮膚科]	川添 貴弘	医師	休診
7月26日(火)	[外科]	渡辺英二郎	医師	休診
7月27日(水)		同		
7月30日(土)		同		
7月28日(木)	[内科]	渡辺 聡枝	医師	休診
7月30日(土)		同		
8月4日(木)	[乳腺外科]	長谷川 圭	医師	休診
8月12日(金)	[内科]	鈴木 明子	医師	休診
8月22日(月)	[内科]	李 鍾碩	医師	休診
8月23日(火)		同		
8月25日(木)		同		
8月26日(金)		同		
8月26日(金)	[内科]	砂金 秀章	医師	休診
8月27日(土)	[内科]	李 鍾碩	医師	休診
8月29日(月)	[乳腺外科]	長谷川 圭	医師	休診
8月30日(火)	[乳腺外科]	長谷川 圭	医師	休診

9月6日(火)	[内科]	平井 琢也	医師	休診
9月21日(水)	[整形外科]	櫻井 晃	医師	休診
9月26日(月)	[乳腺外科]	阪口 志帆	医師	休診
9月27日(火)		同		
9月30日(金)		同		
9月28日(水)	[内科]	藪下 寛人	医師	休診
10月13日(木)	[整形外科]	吉田 圭一	医師	休診
平成29年1月20日(金)	[形成外科]	大久保ありさ	医師	休診

休診のおしらせ 八柱三和クリニック

7月19日(火)	[内科]	鈴木 隆弘	医師	休診
7月21日(木)	[内科]	高林克日己	医師	休診
15:30～17:00 の診療となります				
7月25日(月)	[内科]	渡辺 聡枝	医師	休診
7月27日(水)		同		
7月29日(金)		同		
8月8日(月)	[内科]	鈴木 明子	医師	休診
8月9日(火)		同		
8月12日(金)		同		
8月10日(水)	[内科]	神崎 哲人	医師	休診
8月26日(金)	[内科]	鈴木 明子	医師	休診
8月30日(火)	[内科]	鈴木 隆弘	医師	休診
9月29日(木)	[内科]	高林克日己	医師	休診



外来担当表 八柱三和クリニック (☎ 047-312-8830)

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	渡辺 聡枝	齊藤 丈夫	渡辺 聡枝	齊藤 丈夫	齊藤 丈夫	齊藤 丈夫
		鈴木 明子	鈴木 明子	神崎 哲人	鈴木 明子	渡辺 聡枝	天野 辰哉
							松岡 遊貴
	午後	渡辺 聡枝	鈴木 明子	渡辺 聡枝	鈴木 明子	渡辺 聡枝	/
		鈴木 明子	鈴木 隆弘	竹島 英之	高林 克日己	鈴木 明子	
						(15:00~)	
皮膚科	午前			東竹 逸子		東竹 逸子	
	午後						
栄養相談	午前		第2火曜			第4金曜	

外来担当表 三和病院 (☎ 047-712-0202)

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	高林 克日己	李 鍾碩	齊藤 丈夫	渡辺 聡枝	鈴木 明子	渡辺 聡枝
		李 鍾碩		竹島 英之	齋藤 美奈子	砂金 秀章	高林 2,3,4
							李 鍾碩
	午後	齊藤 丈夫	平井 琢也	高林 克日己	李 鍾碩	李 鍾碩	/
				藪下 寛人			
整形外科	午前		陶山 徹				早田 2,4
	午後	小酒井 2,4	陶山 徹	櫻井 晃	吉田 2,4		
皮膚科	午前					川添 貴弘	
	午後					川添 貴弘	
乳腺外科	午前	渡辺 修	渡辺 修	(手術)	渡辺 修	渡辺 修	渡辺修
		阪口 志帆	阪口 志帆		小寺 麻加	阪口 志帆	阪口 1,2,3,5
		長谷川 圭			長谷川 圭	長谷川 圭	平野 4
	午後	(手術)	長谷川 圭	(手術)	渡辺 修	(手術)	/
					小寺 麻加		
					長谷川 圭		
形成外科	午前	植村 法子				(手術)	
	午後	(手術)				大久保ありさ	
外科 消化器外科	午前		渡辺 英二郎	渡辺 英二郎			渡辺 英二郎
	午後		(手術)	渡辺 英二郎			
内視鏡	午前	渡辺 英二郎	岡山 幸代	鈴木 明子	渡辺 英二郎		島崎 1,3
	午後	渡辺 英二郎	岡山 幸代	鈴木 明子	渡辺 英二郎		
泌尿器科	午前						
	午後			窪田 徹矢			

*表示の数字は第〇週目という意味です

◇栄養相談 月曜日・木曜日 9:30~10:30/14:00~15:00

受付時間: 午前8:30~12:00 午後1:30~5:00

医療法人社団鼎会基金へのご協力をお願いします。

現在までに多数の方々よりご協力をいただいております。地域に根差した医療活動を軌道に乗せること、入院患者の皆様の負担を軽減し病棟運用を効果的に行うために一層の努力を重ねてまいります。引き続き鼎会基金へのご協力をお願いしております。鼎会基金の詳細や募集要項等につきましては三和病院内 鼎会本部総務課 基金係までお問い合わせください。(TEL:047-712-0202)